

北海道留寿都高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)アグリマイスター顕彰制度を推奨して、農業教育の質を向上させます。 (2)農業クラブ活動を充実させ、農業教育の活性化を目指します。	日本農業技術検定3級合格率2年連続80%以上(100%)合格達成。 アグリマイスターシルバー2名取得。	農業技術検定合格率の維持と上級検定への取り組み。 農業クラブの活動の生徒教職員への理解の向上。	4
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)教科指導の充実を図り、国際教育の推進を図ります。	新しいICT環境を生かし、教科間連携による、国際的視を広げる学習ができた。	新学習指導要領に基づいた教科間連携の模索と実現。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)地域に潤いを与え、農業生産の意義を伝える農場運営を推進します。	収穫感謝祭を実施。関係機関に生産物を展示し、本校農業教育の意義を伝えることができた。	感染予防を前提とした交流事業の進化と学校PRの実践。	5
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)地域の農業生産を理解し、生産技術の向上を図ります。 (2)実践的なICT教育を推進します。	地域の作物や新しい品目などの栽培や学習を進めることができた。 ICT機器を生かした授業のバリエーションが増加。	農業生産に生かすことができるICT学習の推進。	5
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)地球環境について科学性のある教育と農業の役割についての学習を推進します。	燃料作物などCO ₂ 削減の具体策を学ぶことができた。	農業の環境への効果を実感できる学習の推進。	4
	⑥「食農」教育を推進します。	(1)地域機関との農業体験交流やを積極的な支援と、食農教育の実践を図ります。	給食センターや小中学校との連携をとおした食育活動を実施できた	本校生徒への教育効果をさらに向上させる活動の推進。	5
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)地域の気候や風土と関連付けた地域農業の理解の推進を図ります。	地域の豊かな自然環境を知り、それを守ることの意義を学ぶことができた。	科学性のある環境教育の推進。	4
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)地域の行事に積極的に参加し、地域との交流を深めます。 (2)福祉施設、高齢者への支援活動を積極的に推進します。	販売会を実施できたことで、地域からの期待を実感することができた。 交流事業を絶やさないよう、維持した。	地域の学校として誇りを持って対応できる教育のさらなる推進。	4
V 地域防災を推進する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)地域の農業関連機関、道の駅、大学との連携を推進します。	農業と福祉相互理解を進める教育課程を実践した。 専門機関の指導によるGAP教育の推進。	感染予防対策を前提とした各機関との連携の強化。	3
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)地域及び学校防災マニュアルを基に、防災意識を高める教育を展開します。 (2)農場施設の使用における安全教育を推進します。	新施設建設に伴う安全教育が徹底できた。	使用機器の老朽化に伴う安全対策の強化。	3